

## COMPRESSED TIME

### The beginning of time

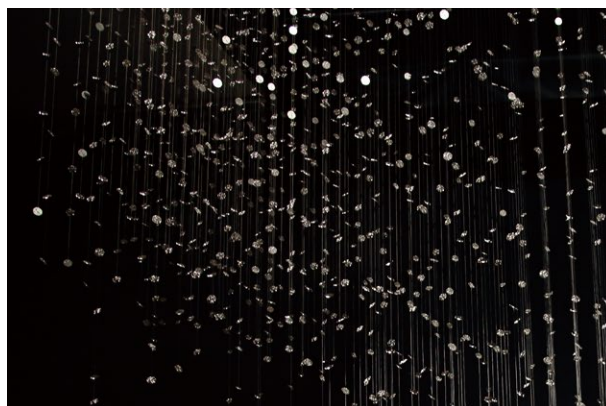
「時間のはじまり」について想像しました。時間のはじまりは、光のはじまりであり、そこから全てが生まれる、そんな事を思い描きました。そこでは日常の感覚とは異なる、濃密で豊饒で時間も空間も未分化な光のはじまりに包まれるのではないかと思いました。「時間のはじまり」は、時間の膨張・ビックバンがはじまる以前の時間が濃縮され、空間が蠢くような、そんな「はじまりの光=はじまりの時間」を想像することからはじまりました。

### TIME x LIGHT x FUTURE

「時間は光であり、光は時間である」、2013年「Frozen Time」のコンセプトはこの「光は時間である=LIGHT is TIME」からはじまりました。2014年「LIGHT is TIME」のコンセプトを更に発展させ、「時間のはじまりは、光のはじまりである」をコンセプトに空間を考え出しました。シチズンの2014年・フラッグシップモデルとなる「エコ・ドライブ サテライト ウェーブ F100」は、光をエネルギー源とし、宇宙空間を周回する人工衛星から送信される時刻情報を、世界最速\*最短3秒で受信し地球上の我々に正しい時刻を伝えるのです。それは単なる技術革新を超えた、時間の凝縮から生まれる世界、光の圧縮から生まれる「未来=future」、そこからインスピレーションを受け「Compressed Time」が生まれました。 ※光発電衛星電波時計として。2014年3月時点当社調べ

### Compressed Time

「Compressed Time」は、2014年シチズン・パーゼルワールドのインスタレーションとなります。シチズン時計の原点である「地板」を使い、時間のはじまる瞬間を現すような空間を発表します。全ての時計部品を支える基盤部品である地板33,771個が、4,811本のワイヤーによって吊るされています。光と空間を効果的に表現するため、全ての地板が緻密に計算され、配置されています。それは長年時計作りに携わっているシチズンだからこそ出来る表現であり、ワイヤーと地板の組み合わせは壮大でありながら精密さを体感していただける空間です。インスタレーションの中心にはシチズン・フラッグシップモデル「エコ・ドライブ サテライト ウェーブ F100」を展示し、そこから光と音による時間が凝縮されたような「Compressed Time」の空間演出を行います。その時、そこにしかない光を感じることで、未だ人類が経験をしたことのない光と時の未知なる可能性を感じていただけたら幸いです。



インスタレーション「Compressed Time」について  
使用した地板の総数:33,771個、使用したワイヤーの本数:4,811本、ワイヤーの全長:13.8km

田根 剛(DGT)



#### DGT(ドレル・ゴットメ・田根 / アーキテクト)

2006年よりダン・ドレル、リナ・ゴットメ、田根 剛の共同主宰により、DGTをパリに設立。エストニア国立博物館・国際設計競技を受賞したDGTは、パリを拠点に「場所の記憶」をテーマに建築の創造を試みている。現在建設中の「エストニア国立博物館」(2016年完成予定)をはじめフランス、イタリア、日本、レバノン、スイスでプロジェクトが進行中。2008年、イギリス・ICON MAGAZINE「世界で最も影響力ある若手建築家20人」に選出、2012年には新国立競技場国際コンペティションで「古墳スタジアム」がファイナリストに選ばれ国際的な注目を集めた。フランス文化庁新進建築家賞(2008)、ミラノ建築家協会賞(2008)、Red Dot Award Winner(2013)など多数受賞。(ライティング企画協力: LUFTZUG)